

事例発表：2021 年度 MH 年次大会(オンライン開催) 「MH・ロジスティクスの最新技術を求めて」

日 時：2022 年 2 月 25 日 (金) 12:30~17:00 会 場：オンライン (Cisco Webex) にて開催
主 催：日本マテリアル・ハンドリング (MH) 協会 参加費：会員＝ 無料・一般＝ 11,000 円 (税込)

日本マテリアル・ハンドリング (MH) 協会では、日頃の研鑽成果の発表の場として、マテハン (MH) の優れた開発や運用などの改善合理化事例を発表いただき、「2021 年度 MH 年次大会」を下記要領にてオンラインで開催致します。本大会は、広く産業界の皆様へもご案内し、発表者と参加者がマテハンの新技術について共に考え交流することを目的としておりますので、皆様お誘い合わせの上、奮ってお申込みください。

プログラム

【基調講演】国土交通省 国土交通政策研究所

発表社：(株)日立物流、王子ホールディングス(株)、日本 GLP(株)、
(株)アイオイ・システム、東京ロボティクス(株)
(詳細は裏面もしくは 2 ページ目をご覧ください。)

お申し込み方法

入力フォームを使って簡単にお申し込み出来ます。

お申し込みはこちらから！ <https://onl.la/ueZNz7T>



メール添付の場合は、下記申込書に記入の上 (yuki-sato@jpi.or.jp) 佐藤宛にお送りください。

2021 年度 MH 年次大会申込書

貴社名			
①	お名前		
	所属・役職		
	E-mail (必須)		
②	お名前		
	所属・役職		
	E-mail (必須)		
住 所 (会員は記入不要)	〒		
所属団体名 (いずれかを選択)	日本MH協会 (会員価格)	日本包装技術協会 (会員価格)	一般

※当会では個人情報の保護に努めております。詳細は当会ホームページ「個人情報保護方針」(<http://www.jmhs.gr.jp/>)をご覧ください。

【注 意 事 項】

- ・お申込みの際は、必ずメールアドレスをご記載ください。(記載のない方は、参加受付が出来ません。)
- ・お申込み後、1 週間以内に事務局より連絡がない場合は、お手数ですが右までお問い合わせください。03-3543-9335 (佐藤宛)
- ・当日は、講演開始時刻の 10 分前より入場いただけます。基本的に講演中は、入退室自由と致します。
- ・発表内容に関するご案内のため、後日講演者から参加者に連絡がある場合があります。
- ・オンラインセミナーの録画・録音・キャプチャー取得などによるデータ保管は、一切禁止致します。
- ・オンラインセミナー参加用の URL を、第三者へ転送し受講させることは禁止致します。
- ・他、参加者の違反行為を発見した場合、今後の当会開催セミナーの受講をお断りさせていただきます。
- ・参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。本オンラインセミナーは Webex を利用して実施します。参加者の方には Webex の接続テスト用 URL を送信しますので、必ず事前に支障がないかご確認ください。

Webex の接続テスト用 URL <https://help.webex.com/ja-jp/nti2f6w/Webex-Meetings-Join-a-Test-Meeting>

2021年度MH年次大会 プログラム

12:30 12:35 開会の挨拶

基調講演

“高度物流人材の育成・確保について—ドイツ・オランダを例に—”

12:35 【講演者】国土交通省 国土交通政策研究所 主任研究官 南 聡一郎氏

【講演概要】

13:35 物流分野では、現場を支える人材に加え、サプライチェーン・マネジメント（SCM）や経営全体の視点から物流の効率化と高付加価値化を図る為の企画・提案ができる「高度物流人材」の育成・確保が求められている。本講演では、令和2年度に実施したオランダ・ドイツの高等教育機関における物流人材育成調査の結果について発表するとともに、我が国における今後の高度物流人材の育成・確保のあり方についての検討結果について報告する。

事例発表

発表① “「スマートロジスティクス」の今と「LOGISTEED」が切り拓く物流の未来”

13:45 【講演者】株式会社日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部
スマートロジスティクス推進部 部長 館内 直氏

【講演概要】

14:15 日立物流は様々なパートナーとの協創により「スマートロジスティクス」を推進し、ロジスティクスの更なるイノベーションに挑戦し続けています。最新事例として倉庫 DX「スマートウエアハウス」と輸送 DX「SSCV(輸送デジタルプラットフォーム)」の具体的取り組み内容に触れつつ、ビジネスコンセプト「LOGISTEED」にこめた、当社がめざす物流の未来像についてご紹介します。

発表② “連続段ボール「らくだん」と自動包装システムのご紹介”

14:25 【講演者】王子ホールディングス株式会社 イノベーション推進本部
パッケージング推進センター 副センター長 山縣 茂氏

【講演概要】

14:55 王子グループでは、永年培ってきた包装資材や包装機械のノウハウを結集し、商品に合わせたぴったりサイズの梱包が実現できる包装ソリューションの展開を開始いたしました。今回は、王子グループが展開する最新鋭の自動包装システムと、連続して折り畳まれた段ボールシートである「らくだん」、及びそれらの導入事例を動画を交えてご紹介させていただきます。

発表③ “物流施設に「テナント同士の共創」「地域との共生」が今求められているワケ ～GLP ALFALINK が目指す新たな物流施設像～”

15:05 【講演者】日本 GLP 株式会社 営業開発部 シニアマネージャー 草原 洵也氏

【講演概要】

15:35 「コストセンター」として捉えられていた物流施設を「プロフィットセンター」へ、「嫌悪施設」として見られることも少なくなかった物流施設を「働きたくなる施設」へ——。日本 GLP は「テナント同士の共創」や「地域との共生」というコンセプトで、物流に新たな価値をもたらせるように日々取り組んでいます。本発表では、昨年誕生した大規模多機能型物流施設の新ブランド「GLP ALFALINK」の事例を元に、最新の物流施設トレンドをご紹介します。

発表④ “自動搬送車/ロボティクスと作業者との協働化について”

15:45 【講演者】株式会社アイオイ・システム 営業本部 常務取締役 西田 光男 氏

【講演概要】

16:15 少子高齢化による労働力の低下に併せて、物に対する人々の欲望の増大に対応できるサプライチェーン/ロジスティクスの強化に不可欠な自動化・最適化の技術であるロボット・AI と作業労働者との協調についてご紹介します。

発表⑤ “移動型ピック&プレースロボット「モバイルグリッパ」”

16:25 【講演者】東京ロボティクス株式会社 代表取締役 坂本 義弘氏

【講演概要】

16:55 本発表では、次世代の搬送ロボットとしての「モバイルグリッパ」をご紹介します。本ロボットは、人間が両腕で物を抱えるように、大型のグリッパで物を把持することで 10～20kg 程度の重量物を運搬するロボットです。特にパレットからコンパヤに箱類を移すような、移動を伴う積み下ろしを頻繁に行う作業の自動化に適しています。固定設置型の大型ロボットと比較し、省スペースかつ配置換えのコストを抑えられるというメリットがあります。